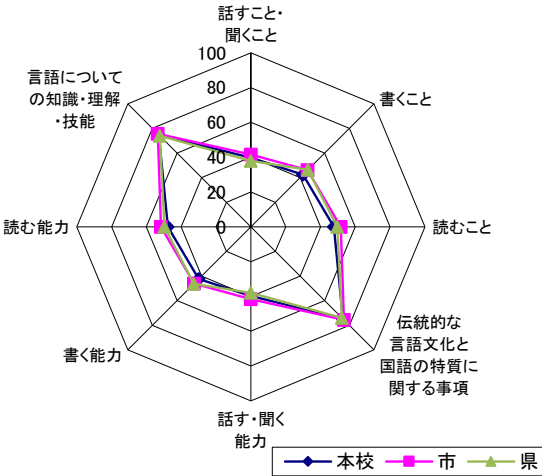


宇都宮市立清原東小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

| 分類  | 区分                   | 本年度  |      |      |
|-----|----------------------|------|------|------|
|     |                      | 本校   | 市    | 県    |
| 領域等 | 話すこと・聞くこと            | 39.7 | 41.6 | 37.9 |
|     | 書くこと                 | 42.3 | 46.1 | 46.3 |
|     | 読むこと                 | 47.6 | 51.6 | 49.7 |
|     | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 74.8 | 75.6 | 74.0 |
| 観点  | 話す・聞く能力              | 39.7 | 41.6 | 37.9 |
|     | 書く能力                 | 42.3 | 46.1 | 46.3 |
|     | 読む能力                 | 47.6 | 51.6 | 49.7 |
|     | 言語についての知識・理解・技能      | 74.8 | 75.6 | 74.0 |



★指導の工夫と改善

| 分類・区分                | 本年度の状況                                                                                                                                      | 今後の指導の重点                                                                                                                                                                |
|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 話すこと・聞くこと            | ●平均正答率は、市の平均正答率より低い。<br>○話し合いにおいては、司会者や提案者などの役割を理解して話し合いに参加することへの知識・理解は市の平均正答率とほぼ同じである。<br>●話し合いにおいては、進行に沿った話し合いをすることへの知識・理解が不十分である。        | ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの<br>・国語の授業や学級活動の話し合い活動などにおいては、ワークシートを工夫したり、振り返る時間を十分確保したりすることで、自分と相手の意見の共通点や違いに気づき、互いの意見を整理できるようにする。<br>・話し合いのマニュアル等を用いて話の聞き方、話し方について指導し、定着を図る。 |
| 書くこと                 | ●平均正答率は、県、市の平均正答率を下回っている。<br>○資料と話し合いを基に、学級新聞に付け足す文を記述することの正答率は、市の平均正答率とほぼ同じである。                                                            | ・作文指導においては、「自分の主張」「理由」「具体例」「まとめ」などの構成を示すことで、書く力の向上を図る。<br>・段落に分けた作文を書く機会を多く設け、書く力の向上を図る。                                                                                |
| 読むこと                 | ●平均正答率は、県、市平均正答率を下回っている。<br>○説明文は、中心となる言葉を捉えて読むことができる。<br>●説明文では、文全体の構成をつかみ、要約することに大きな個人差が見られる。また、物語では、叙述を基に登場人物の気持ちを想像して読むことに、大きな個人差がみられる。 | ・チャレンジブックなどの読書記録カードを活用することで、朝の読書、家庭での読書を推奨し、文章に親しむようにさせる。<br>・段落ごとに要点をまとめたり、段落と段落の関係をとらえさせたりして、文章全体の構成を考えさせるような学習活動を増やしていく。また、朝の学習において、短編の物語の読み取りを行う時間を定期的に確保する。        |
| 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | ○平均正答率は、他の領域と比較すると高くなっており、県、市の平均正答率と同程度である。<br>○前学年の漢字の読みの正答率は、県や市の平均を上回っている。<br>●漢字辞典やことわざの使い方の理解が不十分である。                                  | ・教室に漢字辞典を常備したり、分からない漢字を自主的に調べるよう指導することで、漢字辞典の使い方の習熟を図る。<br>・朝の学習や家庭学習で今まで習ってきた漢字も含めて練習を継続して行い定着を図る。<br>・文章を書くときに、習った漢字をできるだけ使うよう指導していく。                                 |
|                      |                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                         |